

1 学園教育目標

「自分を創る」

～ 警固屋を愛し、自ら学び心豊かで 力強く未来を拓いていく「警固屋っ子」の育成～

互いの	ことば	が	ひびきあえば
互いの	いのち	が	ひびきあう
互いの	いのち	が	ひびきあえば
互いの	まなび	が	ひびきあう
そんな	まなび	が	自分を創る

- いのちを大切にし、心や体を鍛える子ども（いのち）
- 深く考え、互いに高め合う子ども（まなび）
- 自分や周りの人を大切にする子ども
(かかわり・ことば)

※ 生涯にわたり、あらゆる「人・もの・こと」から児童生徒が自ら学び続け、やがて未来に貢献する自分を創り上げる営みを、指導支援し続けるのが教育である。

※ 「ことば」は、自分の「気持ち(感情)」、「考え(思考・判断)」を形に表し、人と人をつなぐものである。このことばを土台として、自分を創っていく児童生徒を育てる。

2 経営理念 … 警固屋学園が組織として目指す方向性

(1) ミッション（地域・社会における警固屋学園の使命）

- ・ 小中一貫教育を通して、未来への展望を持ち「**自他の幸せを目指し、自立し貢献できる人間**」の根っこを育てる。

◇ 手段・目指す姿:

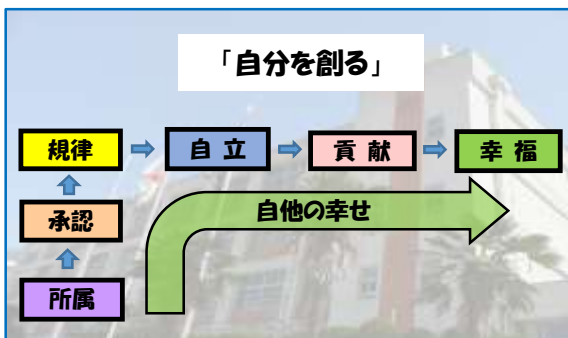
「**授業や生活における型を身に付け、向上心を持って仲間とともに高め合う児童生徒**」

(2) ビジョン（使命の追究を通じて実現しようとする警固屋学園の将来像）

- ・ **学習活動や行事が充実し、仲間と学ぶ楽しさがあふれる学園**
- ・ **子どもの夢や希望を生み出し、実現させる学園**
- ・ **地域・社会に貢献する実践的行動力のある学園**

3 目指す児童・生徒像

**未来への展望を持ち自他の幸せを目指し、自立し貢献できる児童・生徒
(他者(ひと・もの・こと)との対話を通して新たな知や価値を創造する子ども)**



※ 規律を身に付けることは、自立と貢献へ進める基本的な生きる力となる。

※ 「自立ノート」の活用で、毎日の学習と生活を省察し、新たな自分創りにつなげていく。

※ 「家族」「社会」「自然」「歴史」等のつながりの中で自分の在り方を捉え、未来に貢献する生き方・自分の価値観等の見通しを持たせる。

4 目指す教職員像

◇ 子どもたちの「ことば」「生き方」「学び」のよき手本となる教職員

- ・ **法規法令、根拠・理論を持ち備えている教職員**
- ・ **具体的な指導スキルを習得・実践できる教職員**
- ・ **確固たる指導理念を持ち備えている教職員**

